



# 樹 姉 ば よ り

No.152  
2017.06

## 慈 悲 喜 捨

六月の第三日曜日は父の日です。アメリカ人の「ソノラ・スマート・ドット」という女性が、父親をたてるために父の日を提唱しました。

ソノラの父親は、若くして亡くなった妻に代わって、一所懸命に働きながら六人の子を育てあげました。そのような父親の姿を見て育ったソノラが、父親の誕生月の六月を「父の日」として提唱したのです。彼女の考えは多くの人の支持を得ましたが、当時のアメリカ議会は男性だけで構成されていたので、男性に都合がよすぎる法律だと言われることを避けて法制化しませんでした。そして、一九七二年のニクソン大統領のときにようやく正式に認められ、「父親を尊敬し、称え祝う日」として世界中に広がっていききました。

「母の日」はカーネーションを送るのが一般的ですが、「父の日」にはバラを贈ります。それは、ソノラが、父親の好きだった白いバラをお墓に供えたこと由来しています。また、昔は各国で戦争があり、「黄色」が自らの身を守ったり、愛する人の無事を願う色とされていた。それが黄色いリボンとなり、日本で

も父の日のカラーとなりました。

日本で、「母の日」が公式に認められたのは一九四七年です。「父の日」はそれ以降であるので、社会的にそれほど認知されていませんでした。しかし、「日本フアーズ・デイ委員会」が設立され、「父の日黄色いリボンキャンペーン」や「ベスト・フアーズ・授賞式」などが行われたり、デパートなどが父の日を企画するなどするようになって国民的なイベントとして広がっています。家庭における父親の役割は、一般的には社会のルールや行動力、人としての強さに裏付けられた優しさを教えることだと言われています。現在は、男女共同参画社会の進行や、子育てに参加する「イクメン」などにより更に役割は多様化しています。しかし、いつの時代でも、無償の愛を注ぐ保護者の姿勢が、子どもの心を豊かにすることに変わりはありません。

「母の日」「父の日」が制定された意義を再確認し、感謝と報恩の心を学び、実践する日としたいものです。その積み重ねが、一人ひとりの幸せへとつながっていくのではないのでしょうか。

教頭 金安伸一

# チャンネルを合わせる

樹徳中学校・高等学校校長

野口 秀樹



新年度が始まって二ヶ月が過ぎました。新入生達も学校に慣れてくれたようです。校内における男女共学、二、三年生にとっても違和感がなさそうです。高校総体の結果はまあまあ、これからの伸びしろが大いに期待できます。

テレビのコマーシャル収入がWEBメディアに逆転されて、テレビ業界も大変であるという話を聞きました。今の若い人達は新聞ばかりではなくてテレビを見なくなっただけです。私の子どもの頃のメディアと言えばラジオとテレビでした。

実は私がこの世に誕生

した年の昭和二十八年二月一日にNHK東京放送局がテレビ放送を開始したのです。国営放送に続いて、民放では日本テレビがその年の八月開局。

当時は大人にとっても、子供にとってもテレビは夢に見るような電化製品、一般家庭ではなかなか購入できなかったのです。

当時のテレビと言えば白黒、カラーではないのです。でも貴重なものですからどこの家でも床の間に置きました。家の中で一番よい場所です。そしてホコリなどつかないようにカバーを掛けて大事にしました。番組もテレビ局も限られていて、昼間でも番組がない時間があり、その間はテストパターンが写されていました。

テレビが購入されている家に近所の子供達は集団で見せてもらいに行っていたのです。信じられますか。私もテレビを見るために色々な家にかが

ました。

子供向けにつくられた日本製の「隠密剣士」「月光仮面」「ハリマ王」、アメリカのテレビドラマ「名犬ラッシー」、家で犬を飼ったり、オープンカーで家族が旅行に行ったり、夢のような世界がそこにはありました。

我が家にテレビが登場したのは小学校二年生のとき、この頃の普及率が五十パーセント位かと思えます。

テレビが入る以前は、夕方になると姉弟でラジオの前に集まり、連続ラジオドラマを、耳をそばだてて聞いていました。

「パパ行つてらしゃい」「二丁目一番地」「赤道鈴之介」こんな番組を聞いていたのを覚えています。声優の中村めい子さんが僕らのあこがれでした。ちなみにラジオを放送開始は大正十四年三月、テレビよりも三十年も前のことになりました。ラジオの放送も今のよ

うにはいかず、当時はクリアーな音で聞いておりませんでした。いつもジージーと雑音が入っていた。ひどくなるとダイヤルをチューニングするのですが、上手く聞こえてこない。ラジオはポタポタ一つで選局ができるものと、お思いでしょうか。当時はこれが難しかったです。

前段が長かったのですがチューニングについて書こうと思います。

私たち教職員もラジオに似ております。クラス担任には四十人くらいの周波数の違う電波が向けられているのです。

私も教師としての力量は先ず、この四十チャンネルをどのように扱っていきけるかをためされていると言っても過言ではありません。

皆覚悟をして教師になったのですが、これは大変なことなのです。先生の周波数が生徒の出してる周波数にあわな

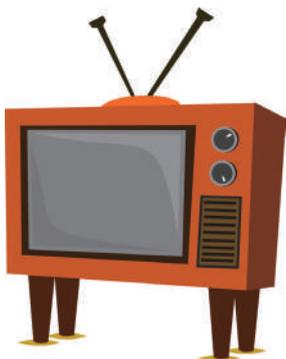
い時もしばしばあります。その時には教師の力量が試されます。チューニングが上手くできない生徒達も沢山いるからです。

その時には、先生自ら相手の周波数に合わせるチューニングをしなければなりません。先生はある程度の数の放送局、チャンネルを持たねばならないのです。

皆様、先生という仕事でも多くの先生方はこのチャンネルを沢山身につけているのです。中には天才的と言える先生もおります。

一人ひとりの持ち味が輝く学校作りを進めて行きたいと思えます。

合掌



# 朝はいただきもの

## 感謝から始めよう

### 努力三倍

この言葉は、私の母校、愛工大名電の先輩であり卓球の元世界チャンピオン、長谷川信彦先生の言葉である。この言葉が、私の人生を大きく変えた。

私は青森県に生まれ、小学三年から大学四年まで十三年間、卓球に打ち込んできた。中学までは地元のクラブチームで練習に励み、高校は愛知県の愛工大名電に進学した。卓球の全国ベスト4以上常連の強豪校であり、野球のイチロー選手の母校としても有名だ。私は中学時代、全国大会での実績は無かった。そんな私にとって、全国レベルの強豪校に進学し腕を磨くことは一つの賭けであった。当然家族は心配した。「わざわざそんな遠くまで行かなくても...」。時には、心無い人の「周りの選手に

埋もれて試合に出られなくなる」などという言葉が耳に入ることもあった。だが、そんな声は気にしなかった。「全国で名を上げる」という夢が中学生の私を突き動かし、青森を離れることを決意させたのだ。

しかし、入学後に待っていたのは、想像を遙かに超える試練の連続であった。レベルの高い環境で練習ができると思気込んでいたが、実力がない者は球拾いばかりでボールを打たせてもらえなかった。やっと球打ち練習ができると思ったら、今度は高いレベルの練習についていけず、毎日先輩の部屋に呼び出され叱責される日々。部内で行われるリーグ戦でも、十四位、つまりは最下位であった。そして何より、親から離れているため、自分のことは全て自分でやらなければいけないこと、旧知の友達な

ど頼れる人が全くいないことなどが、当時の私をいっそう苦しめた。

そんな中、私はある言葉と出会う。それこそが冒頭の「努力三倍」である。長谷川信彦先生は、運動能力が優れていない点を、人より三倍努力をすることで補った、という話だ。実績も力も無かった私は、その言葉を自分自身にあてはめ、誰よりも練習をするこ

とにした。朝五時に起きて一時間のサーブ練習と五キロのランニング。授業後は十六時から二十時までの全体練習。その後、自主練習をするために先輩や同期に頭を下げ相手をしてもらい、二十一時から二十三時まで練習を重ねた。食生活も研究し、菓子類は禁止。ジュースも飲まず、水分は水のみ。食事は炭水化物、ビタミン、たんぱく質などバランスの良い食事を心がけ、体作りに努めた。

しかし、これほど卓球第一の生活をして、一年目は結果を出すことができなかった。部員の誰より練習しても勝てないことに悩み、なぜ勝てないのか、どうしたら勝てるのか、対戦相手を研究し、自分とトツ

プ選手の違いを見つけては修正し、毎日、努力の方法に葛藤し、もがき苦しむ日々。努力しても負け、また工夫して努力しても負ける。こんなにも試合で勝てない私が心を折らずに努力を続けられたのは「全国で名を上げる」という夢があったからだ。

このような努力を三年間続けた結果、一年目、最下位だった部内リーグでは二年目は優勝し、名電卓球部史上二人目となる二年・三年での二連覇を果たした。夏のインターハイではベスト4に入賞することができた。中央大学に進学後も私は努力を重ね、リオオリンピック銀メダリストの丹羽孝希選手に勝利することもできた。

「夢や目標は、時に計り知れない力を与えてくれる」「努力を続けることで不可能は可能になる」夢を持つて努力をしたことで、私は、この二つのことを学んだ。そして、「諦めずに全力でもがくこと」。これが、夢を達成するための一番の方法だと思っ

高校時代に夢を叶え



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前  
 ■樹徳コミュニティセンター「み法」  
 6月の行事予定  
 (1) ラタンアート工房「桐生藤工芸」  
 主催 野村ナナ子さん 1, 15日(木)  
 (2) 七草ゼミナール塾  
 主催 上野文雄さん 26日(月)  
 (3) 販売実習 17日(土), 18日(日)  
 ①「相田みつを美術館」取扱い商品  
 ②「星野富弘美術館」取扱い商品

た私は、大学で、新しい目標を立てた。それは「日本一」になることだ。選手としては達成できなかった夢だが、私の戦いは監督としてまた新たに幕を開けた。この目標を達成するため何年、何十年かかるかはわからない。達成できずに終わる可能性もある。それでもこの大きな壁に挑むこともこの大きな壁に挑むことも、もがくことに価値があると私は思う。私の戦いはまだ始まったばかりだ。  
 長谷川信彦先生のご息、大学の先輩でもある長谷川幸弘先生のご縁で、私は、樹徳高校に勤めさせていただくことになった。卓球というスポーツが繋げてくれたこのご縁に感謝し、一日一日を過ごしていきたい。  
 (国語科 大坂亮輔)

# 新入生、宿泊研修に臨む

◆ 4月13日（木）から21日（金）までの日程の中、一年生各クラスを5班に分け、梅田野外活動センターと東毛少年自然の家の二カ所で新入生宿泊研修が実施されました。グループエンカウンターや登山、キャンドルファイヤーなどの各種レク活動をとおして過ごす一泊二日は、いわば心の壁の解体工事。研修を終え、自ら創った心の壁がなくなった今、彼らの心にはどんな新しい風が吹いていることでしょう。



▲エンカウンター▼



梅田野外活動センター着！▲



▲仲間と挑んだ厳しい登山



▲茶臼山登頂！



▼仲間と灯すキャンドルファイヤー



北原照久氏の記念講演  
演題『夢の実現  
ツキの十力条』



聖歌隊と学校長が奏でる音楽法要。  
本校の宗教的行事でも独自性の強いものです。



現メンバーでは今回が最後となる  
献灯・献花・献香。  
ステージに有終の美を飾ります。

### おわびと訂正

5月号の4ページ「第1学年紹介」について、誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

| コース | クラス | 担任・副担任        |
|-----|-----|---------------|
| 総合  | J3  | 竹澤奈保子・片岡雅樹    |
| 一貫校 | 4-1 | [主任]岡村祐一・横倉正巳 |
|     | 4-2 | 大堀文夫・吉原裕平     |

## 緑蔭祭

今ある命に感謝。

昭和二十二（一九四七）年、キャサリン台風が来襲し、関東圏に深刻な被害をもたらしました。本校周辺もこの大災害によって甚大な危機に瀕したのです。この時、二代校長である野口健策先生が、身を賭して樹徳教育の再建に携わり、その生涯をかけた実践により、危難を乗り越えました。

今、私たちが生きているのは、太古の昔より受け継がれてきた命のバトンが、一度たりとも途切れたことがなかったからです。そして、そんな私たちが生かしてくれるすべての「いのち」に感謝をし、精一杯生きていくことを誓うことが、緑蔭祭の重要な目的なのです。

# 高校総体

第52回群馬県高等学校総合体育大会が5月12日～14日（陸上競技は18日～21日）に開催され、本校生が今年も大活躍しました。

## 相撲



- 団体 優勝（10年連続優勝！）  
櫻井怜司 城代竜之介 関根隆平  
木暮龍之介 小野里光洋 中野智基
- 個人  
優勝 櫻井怜司  
2位 中野智基

## 少林寺拳法



- 男子団体演武 2位  
黒崎研吾 岡崎将大 菅谷景都  
土田君丸 外崎裕真 金子善俊  
トランタンタム 加藤輝
- 男子組演武  
3位 土田君丸 菅谷景都  
4位 加藤輝 外崎裕真
- 男子単独演武  
3位 岡崎将大 5位 天笠遼
- 女子団体演武 優勝  
一場美緒 高宮美鈴 高橋美衣  
松島玲奈 小林柚葉 平田美咲
- 女子組演武  
2位 小林柚葉 高宮美鈴  
4位 松島玲奈 齋藤瑛実里

## 卓球



- 男子学校対抗 優勝  
堀翔来 宮崎黎 牛込竜輔 長沼龍之介 市村香多  
岡本宗一郎 池田聡太 吉野希望
- 男子シングルス 優勝 牛込竜輔 2位 長沼龍之介
- 男子ダブルス 優勝 牛込竜輔 長沼龍之介
- 女子学校対抗 2位  
村岡千晶 杉木美穂 齊藤理乃 大野愛未  
山田真奈美 太田采奈 木村奏美 木嶋美由
- 女子シングルス 2位 杉木美穂 4位 齊藤理乃
- 女子ダブルス  
2位 杉木美穂 大塚里紗 3位 村岡千晶 齊藤理乃

## 陸上競技



- 男子総合成績 3位
- 男子  
110mH 3位 三輪凌大  
800m 優勝 大類康靖  
1500m 6位 大類康靖  
3000mSC 6位 柿沼祐亮  
5000m 3位 大澤佑介  
4位 赤坂 匠  
6位 北村 光
- 女子  
棒高跳 優勝 三輪凌大  
3位 高橋奎太
- 女子  
棒高跳 3位 小林茂奈  
砲丸投 4位 小暮未来  
砲丸投 6位 柏嶋侑里香  
円盤投 3位 柏嶋侑里香

### 第2学年担任紹介

| コース    | クラス    | 担任・副担任         |
|--------|--------|----------------|
| 男子部 総合 | J1     | 井達誠            |
|        | J2     | 渡邊信雄・丹羽良之      |
|        | J3     | 花房拓也           |
|        | J4     | 池田陽祐           |
|        | J5     | 〔主任〕宮坂伸一郎・野平雄太 |
|        | 特進     | SS 渡邊秀明        |
|        | 特進     | K 金田啓志         |
|        | 進学     | S 村上大祐・松井恭央    |
|        | 学年付き   | 桜井龍太           |
|        | 女子部 総合 | j1             |
| j2     |        | 藤生義教・須藤康雄      |
| j3     |        | 塚田政利           |
| 特進     |        | ss 広井勉         |
| 特進     |        | k 林千佐          |
| 学年付き   | 田村行輝   |                |
| 一貫校    | 5-1    | 〔主任〕福田肇        |
|        | 5-2    | 荻野高子・神田隆夫      |
|        | 学年付き   | 内山一之           |

第二学年 学年目標

○進路の決定と学力  
（教養・知識・技術・技能）の向上

○健やかな身体と、健全な判断力を養う

## 将棋



- 男子個人 優勝 武井柊馬  
3位 齊藤由空 城田直哉
- 女子個人 優勝 高橋一華

## 剣道



- 男子団体 3位  
高草木大樹 金井健朗 渡辺優輝  
清水和良 小金井健尊 朝日悠貴

# 一貫校

中学校

# だより

## ◆第一学年山荘合宿

一年生にとつての初の宿泊行事、梅田での山荘合宿が五月一・二日に行われました。

悪天候にも関わらず生徒達は一所懸命に鳴神山に登ることができました。

### 《体験記一》

「あーもういやだ」と本音がこぼれ、やる気はなくなる。だけど頂上まで登りたい、そういう気持ちの方が強かった。

鳴神山の高さは約九百メートル。登るのはとても大変だった。最初は、ワクワクやドキドキ、早く登りたいという気持ちが胸の中にかくさん入っていた。しかし途中で息が切れ、まだ八分の一なのに休憩をしなければならなかった。これでは「まだこの先長いのに大丈夫かな。」と思った。その後、この予想は的中した。登っても登っても、コケをかぶった石や、枯れた草、橋

からの樹徳六年間につなげていきたいです。

一組 久保田 りか



ません。この梅田山荘合宿を通して私はたくさん感謝の気持ちを持てることができましたと思います。

水道から暖かい水が出て、ぼうつとしていても美味しい食事が出てきて、虫なんてどこにもいなく、そんな生活は、当たり前のことだと思っていました。きつどこかでは「これは普通なんだろうか。」という気持ちを持っていただけ、心の底から「ありがたい」と思ったことはあまりありませんでした。今回の梅田山荘合宿も「普通」なんだろうな、と思っています。

けれど実際は、先生の話よりも大変なことや、「普通」ではないことが多すぎて、水道をひねっても冷たい水しか出てこないし、虫はたくさんいるので、ようやく自分の中の「普通」が、だいぶおかしいことに気がつきました。すると、なんとなく今まで自分が大変な思い違いをしていたことが恥ずかしく、少し笑ってしまいました。

しかし、私はその思い違いのおかげでたくさんこの

とに気づけました。人間が作りあげた文明はすごいというところ、川の水はきれいだったということ、空気はおいしいということ、鳥の鳴き声は美しいということ、友情のあたたかさ、水道の水の冷たさ、つかれた後の食事の美味しさ、虫もがんばって生きているということ。全部、山と合宿が教えてくれたことです。

これらの気づき、教えを通して、私たちの生活には改めて感謝しなければいけないことがたくさんあることに私は気づきました。これからたくさん「ありがとう」という言葉を、たくさんのおづきと共にだれかに伝えていけたらいいな、と思います。

二組 諸岡 明音

### 《体験記二》

気づくことができなかつたら、感謝の気持ちを持って

## 樹徳中高一貫教育 学校見学会

6/17 (土)  
9:00~11:30

お問い合わせ等は、  
前日迄にお電話で。  
Tel. 0277-45-2257

# 幼稚園だより

「梅雨を味方に  
楽しい六月を！」

じりじりと真夏のような太陽が出るかと思えば、肌寒く冷たい雨の日も…。入園・進級から二ヶ月が過ぎ、子どもたちは自分のやりたいことがはつきりしてきました。小さなめ事もみられるようになりましたが、泣いているお友だちに「どうしたの?」「大丈夫?」と優しい声をかけたり、涙を拭いてあげたりする姿か

ら、クラスの仲間意識も芽生えています。

六月は、じめじめした季節ですが、「雨の日を楽しくもうと」水遊びに使う物を作ったり、雨の好きな動物の観察や世話をし、楽しく過ごせるように工夫し、楽しい六月にしたいと思えます。ご支援よろしくお願いたします。

## 「新制度に向けて」

樹徳幼稚園は、来年度新制度に移行し、認定こども園（幼稚園型）を予定しています。桐生市子育て支援課と第一回の話し合いも行って、準備を進めています。保護者・関係皆様にも理解していただくために、説明責任を果たしていかなければと思っています。

新制度は平成二十七年都道府県において、他都道府県に比べ、移行率が高く、平成二十九年度は、幼稚園（私学助成）四〇園、認定

こども園八十八園と、七十三%が新制度へと移行し、当初の予想を大きく上回っています。



「虫歯予防教室・5月22日」

## 「幼稚園と認定こども園の違いは、保育料から」

幼稚園と保育園は新制度施行以前は、考え方・制度も実際の保育料もかなり異なっていました。私立幼稚園は、新制度が始まるまでは、文科省を通じて助成される私学助成金に、各都道府県が上乗せして私立幼稚園に助成（給付）していました。各園はこの助成金に、保護者からの入園料や保育料を付け加えて運営していました。その後、家庭の収

入等による不公平をなくすために、収入に応じた就園奨励補助金（就園奨励費）が、各家庭（保護者）に支給されています。新制度では、保育料が収入に応じた額（応能負担）になるので、就園奨励補助金はなくなりません。幼稚園も保育所も同じお金の流れにして、新制度に移行する幼稚園・保育所には、施設型給付（内閣府）というお金が共通に支給されます。都道府県からではなく、市町村から保育所と同じように、支給される制度に変わりました。国

は、  
**一号認定**の子ども（満三歳以上で教育を希望する、二号認定以外の子ども・教育標準時間）、  
**二号認定**の子ども（満三歳以上の子どもで、保護者の労働・疾病等で家庭において必要な保育を受けることが困難である子ども・八時間から十一時間の保育を受ける）については五段階に区分し、

三号認定の子ども（三歳未満の保育を受ける子ども・八時間から十一時間の保育を受ける）については、八段階に区分した国の標準モデルを参考に、各自治体ごとの区分設定した保育料

となります。一号よりも二・三号のほうが保育時間が長く、保育料も高くなりますが、幼稚園から認定こども園に移行した場合は、保育料はできるだけ変わらないように設定されています。世界的には三歳からの保育料を無償にする動きが一般的なっています。日本でも幼児教育の無償化に向けては、段階的に進められています。一日も早い実現を期待しているところです。

園長 瀬谷 茂

## 『入園児募集』

◎平成三〇年度、認定こども園（幼稚園型）へ移行予定です。  
 ◎二歳児の入園大歓迎！  
 ◎本年度より満三歳児学級を開設し、二歳児も随時入園できます。是非お問い合わせください。お待ちしております。

※詳細は電話かホームページをご覧ください。

電話 0277 (53)

5571

詳細はホームページ

<http://www.jufokued.jp/>

Kinder

## 6月(正語)の行事予定

| 日  | 曜日 | 高等学校(本校)                                 | 一 貫 校             | 幼 稚 園                            |
|----|----|--|-------------------|----------------------------------|
| 1  | 木  | 更衣・夏服指導 前期教育実習開始 歯科検診④                   | 更衣 前期教育実習開始       | 衣替え 体育・文字(年中)                    |
| 2  | 金  |  | 英語検定(4・5級)        | 避難訓練(不審者)                        |
| 3  | 土  | 漢字検定① 英語検定①一次 3年進研マーク模試(～4日)             | 英語検定(2～3級)        |                                  |
| 4  | 日  |  |                   | わんぱく相撲大会9:00(希望者)                |
| 5  | 月  | LHR 授業料納入日                               |                   | 保険料納入日 教育実習生受け入れ(～16日)<br>ダンス・文字 |
| 6  | 火  | 後援会執行部会 後援会役員会①<br>後援会地区連絡委員会 後援会新旧役員懇親会 |                   | プール開き 幼交連会議⑤                     |
| 7  | 水  | マイトリ―基金抛金日 県校長会 検尿②                      |                   | 群私幼主任研修会 英語・文字(年長)               |
| 8  | 木  | 防火避難・初期消火訓練①                             |                   | 体育・文字(年中)                        |
| 9  | 金  | 県高P連総会(～10日)                             | 中学校授業参観日①         |                                  |
| 10 | 土  | 1～3年学研模試(特別課外補習受講者)                      |                   | 茶臼山親子登山                          |
| 11 | 日  | 日商簿記検定①                                  |                   | 中央ロータリー サツマイモの苗植え<br>(7:00～ 希望者) |
| 12 | 月  | 朝礼 検尿(予備) 3年Jj組三者面談(～16日)                |                   | 代休(茶臼山親子登山) 預かり保育<br>教育実習(～16日)  |
| 13 | 火  |  |                   | 園外保育(昆虫の森) 幼交連会議⑥                |
| 14 | 水  |  |                   | お茶のお稽古② 英語・文字(年長)                |
| 15 | 木  | 歯科検診⑤ 交通安全マナーアップ運動①                      | 交通安全マナーアップ運動①     | 体育・文字(年中)                        |
| 16 | 金  | 私学振興会役員会                                 | 漢字検定①             |                                  |
| 17 | 土  | GTEC for STUDENTS(1～3年進学クラス)             | 学校見学会②            |                                  |
| 18 | 日  | ペン字検定① 第3回吹奏楽部定期コンサート                    |                   |                                  |
| 19 | 月  | LHR                                      |                   | リズム・文字                           |
| 20 | 火  |  |                   | ジャガイモ掘り 幼交連会議⑦                   |
| 21 | 水  | 大掃除 北関東新任研修(～23日)                        | 早朝自主学习(～7/3)      | 英語・文字(年長)                        |
| 22 | 木  | 樹の根の会総会 七都県高等学校進学問題協議会                   |                   | 開園記念日(休園日)                       |
| 23 | 金  | 関東地区私学保護者会連合会理事会(埼玉)                     |                   |                                  |
| 24 | 土  |  | 卒業生による生き方教室 数学検定① |                                  |
| 25 | 日  | 全商簿記実務検定① 第25回聖歌隊定期コンサート                 |                   |                                  |
| 26 | 月  | 朝礼                                       |                   | リズム・文字                           |
| 27 | 火  |  |                   | 読み聞かせ                            |
| 28 | 水  | 中学校長会進路指導部との連絡協議会                        |                   | 年少・年少々保育参観 英語・文字(年長)             |
| 29 | 木  | 期末試験(～7/4)                               | 期末試験(～7/3)        | 年中保育参観(保護者会) 体育・文字(年中)           |
| 30 | 金  | 出欠統計提出 女子制服アフターサービス                      |                   | 年長保育参観 幼交連リーダー研修会                |

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校  
樹徳中学校  
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web [www.jutoku.ed.jp](http://www.jutoku.ed.jp) Mail [office@po.jutoku.ed.jp](mailto:office@po.jutoku.ed.jp)

発行責任者 野口秀樹  
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく